

講演会のご案内 中国の先端科学技術動向と日中協力のあり方

主催者 日中科学技術交流協会

中国の科学技術は近年急速に発展しています。新幹線は北京 - 上海を 5 時間で走らせ、同一距離の東京 - 鹿児島より約 2 時間半も時間短縮しており、原子力は第 3 + 世代炉の導入加速や第 4 世代炉の開発加速などでわが国を追い越していこうとしています。

日中科学技術交流協会ではフォトポリマー懇話会、機能性フィルム研究会、(社)有機エレクトロニクス材料研究会、(社)電気化学会の協賛の下、先月 9 月 8 日から 14 日に中国の上海、蘇州、無錫、北京の中国トップクラスの集積回路微細加工関係研究所を訪問し、中国の近代化の状況を視察し、わが国も兎の緒を締めなおさねばならないと実感しました。

しかし、日本国内にはまだこのような状況が認識されずに、油断を招いております。

つきましては、中国の科学技術全般の科学技術力について J S T などで詳細な調査を実施され、最近「科学技術大国 中国」という著書を刊行された、J S T 上席フェロー兼東大特認教授の林幸秀氏(元宇宙開発事業団副理事長)から、ご講演をいただき、日中協力のあり方を考察していただきます。

また、協会の訪中団に参加しました物質材料研究所微細加工 Platform 長の小出康夫氏および放射光スプリングエイトの実験施設を構える兵庫県立大学准教授の渡邊健夫氏から中国のトップクラスの電子材料、微細加工研究開発の状況を取りまとめていただき、又、民間企業 東レの特別研究員 富川 真佐夫氏から日本から見た中国の技術レベルの評価と日本のあり方などを報告させていただきます。

多数の皆様の講演会への参加をお願い申し上げます。

日時 10 月 15 日(火) 15:00 ~ 18:00

場所 東京大学 本郷 山上会館 地下 A002 号室

テーマ

中国の科学技術の動向と日中協力の在り方 15:05 ~ 16:15
J S T 研究開発戦略センター上席フェロー、東大先端科学技術研究センター特任教授) 林 幸秀氏

- 中国のトップクラス電子材料研究動向と日本のあり方 仮題 16:15 ~ 17:55
- 1) 上海・蘇州の研究所 兵庫県立大学准教授 渡邊 健夫氏 40 分
 - 2) 北京の研究所 物材研究機構 微細加工 Platform 長 小出康夫氏 40 分
 - 3) 民間企業から見た評価 東レ 特別研究員 富川 真佐夫氏 20 分

会費: 一般 2000 円、原子力学会員 1000 円、協会会員 無料

懇親会 山上会館 地下 A002 号室 18:15 ~ 20:00 会費 3500 円

参加申込: 下記を記載の上、お申込み下さい

お名前 _____ ご所属 _____ 連絡先メールアドレス _____

講演会参加 (有 無) 懇親会参加 (有 無)

連絡先 icstea@alpha.ocn.ne.jp または Fax 03-6661-7929 永崎 隆雄

講演会「中国の先端科学技術動向と日本のあり方」

開催日 2013年10月15日(火)

講演会 15:00~18:00 東京大学 本郷 山上会館 地下002号

懇親会 18:15~20:00 東京大学 本郷 山上会館 地下002号

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 電話 03 - 3818 - 3008

